

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 9月30日更新

事務事業名	選挙年齢引き下げ等に伴う選挙人名簿システム改修事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	選挙管理委員会	課長名	財津公正
体系	施策	14	市民参画によるまちづくりの推進		所属課	選挙管理委員会事務局	担当者名	右田裕治、歌野雅文
	施策の柱	42	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保		所属班	選挙管理委員会事務局	(内線)	1223
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	根拠法令	公職選挙法	
							成果優先度評価結果	：
							コスト削減優先度評価結果	：
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 27年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	平成27年通常国会で選挙権年齢を18歳に引き下げる公選法の改正が6月成立・6月19日に公布された。本法律の適用は、公布日より1年後の平成28年夏に執行される参議院議員通常選挙が最初の選挙となる予定である。 また、18歳選挙権の新有権者も含まれるが、選挙人名簿の登録日(年4回・選挙時)直前に転出し、転入先で3ヶ月以上住んでおらず、かつ、転出前の住所地の選挙人名簿に登録されていない人は、転入先・転出前いずれの住所地でも投票できないことが、現在の公選法では発生する。そのため、平成28年通常国会でそれを改正するように審議されており、平成28年1月中旬に改正法が成立すると言われている。 上記2つの法改正(予定も含む)に対応できるように、選挙システムの改修費用の国の補助制度が平成27年度事業として実施される(予定も含む)ため、28年3月末までにシステム改修を行う。
【業務の流れ】	①国の補助金交付申請 ②交付決定 ③システム業者とのシステム改修委託契約 ④プログラム改修 ⑤選挙システムにプログラムセットアップ ⑥システム動作確認(選挙人名簿出力テスト) ⑦チェック作業 ⑧本番プログラムセットアップ ⑨完了検査 ⑩補助金額の確定・補助金請求 ⑪補助金実績報告書提出
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	※特になし(法律の改正に基づく事務)

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:新規
①手段(主な活動)27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
公職選挙法の一部改正に伴う選挙(選挙人名簿調整)システムの改修を行い、平成28年夏に予定されている参議院議員通常選挙から、18歳選挙権年齢引き下げと選挙人名簿登録制度の変更に対応できるようにする。	次年度なし
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア:選挙人名簿登録者数(平成28年夏の参議院議員通常選挙時)	人 システム改修を平成27年度で終えることによる減
イ:	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
選挙人名簿システム	(単位)
	→ ア:18歳選挙権年齢引き下げ対象者数
	イ:表示登録制度変更にもなう新有権者数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
法律の改正に対応できるようにシステムを変更する	(単位)
	→ ア:選挙執行において問題となった件数
	イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
法律の改正に対応し、適正に選挙を執行する	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	人			46,000	47,266				
	イ									
② 対象指標	ア	人			1,300	1,076				
	イ	人			30	99				
③ 成果指標	ア	件			0	0				
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円			475	469			
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円			475	471				
	(A)事業費計	千円			950	940				
(A)のうち指定経費	千円			0	0					
(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0					
人件費	正規職員従事人数	人			2	3				
	延べ業務時間	時間			80	132				
	(B)人件費計	千円			318	490				
	トータルコスト(A)+(B)	千円			1,268	1,430				

事務事業名	選挙年齢引き下げ等に伴う選挙人名簿システム改修事業	所属部	選挙管理委員会	所属課	選挙管理委員会事務局
-------	---------------------------	-----	---------	-----	------------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 システム改修関連による管理執行上の問題は発生しなかった。
	②28年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 次年度なし
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 次年度なし
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似するものはない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業はシステムの改修費用の委託費のみであるため、削減余地はない
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業はシステムの改修費用の委託費のみであるため、削減余地はない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公職選挙法の改正に伴う事務であり、受益機会も公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 公職選挙法に基づき、市選挙管理委員会を実施する選挙の執行管理事務であるため、他に移行できない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

平成28年度参議院議員通常選挙に向けて、平成27年度末までにシステム改修が必要となった事業であり、補正から事業完了まで期間が限られていたが、システム上、問題なく適正に運用できた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						